



ほけんだより 2月号

2025年2月3日
社会福祉法人 尚徳福祉会
保土ヶ谷保育園

気温が低く乾燥した日が続いています。低温・低湿の冬はウイルスが大好きな季節です。十分な睡眠と栄養バランスを考えた食事を心掛け、身体の免疫力を高められるようにしましょう。保育園でも手洗いや換気に気を配り感染対策を行っています。

節分の豆に注意！～誤嚥について～



かみ砕く必要のある豆（ピーナッツ・炒り豆・枝豆）やナッツ類は
5歳以下の子どもには食べさせないでください。

昨日は節分でしたが、豆まきはされましたか？

奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分でない子どもは、豆をのどや気管支につまらせて窒息したり、小さなかけらが気管に入り込み肺炎や気管支炎をおこしたりするリスクがあり注意が必要です。

また、物を口に入れたまま、走ったり、笑ったり、泣いたり、声を出したりすると、不意に吸い込んでしまい、窒息・誤嚥するリスクがあります。

○節分の豆まきは子どもが拾って口に入れないように、後片付けを徹底しましょう。

小袋に入った商品を使用するのもよいでしょう。

○兄弟がいる家庭では、兄弟がナッツ類を食べている際、5歳以下の子どもが欲しがっても与えないようにしましょう。

5歳以下の子どもにナッツ類、豆類を食べさせるときにはペースト状にします。

○食べているときは、姿勢をよくし食べていることに集中させましょう。

泣いている時に食べ物をあげるのはやめましょう。

例1) 上の子が食べていた枝豆を欲しがり、5~6粒を頬張ったところ、激しく咳き込み始め救急受診した。CT撮影したところ、左気管支に異物（枝豆）を認めた。集中治療室にて全身麻酔下で枝豆1/2粒を除去した。約1週間後に退院となった。

例2) アーモンドを食べさせていた。口内に残したまま歩行中、もっと欲しがって泣いたところ、むせて咳き込んだ。その後もゼイゼイした感じがあり受診。右気管支に異物（アーモンド）があり除去、入院6日間。

⇒注！ 乾いた豆・ナッツ類は気管に入った後水分を含み膨らみ、後になって症状がでることもあります。

園内で報告された感染症

(1月)

インフルエンザA型

溶連菌感染症

新型コロナウイルス

